

<白金標準、売り込まれ過ぎた反動の備える・・・>



(出所：オアシス)

LME 市場で非鉄金属の価格が下落している。特に鉄鋼石をはじめアルミ、ニッケルといった価格が FOMC で利下げ観測が後退し、ドル高の様相を強めるなど非鉄金属の価格を押し下げている。また中国の不動産開発企業の低迷は、中国国内の鉄鋼需要の低迷の主な要因である。そのため中国政府は景気テコ入れのため 2025 年は 3 兆元 (64.5 兆円) の国債発行を計画しており、トランプ次期大統領の就任に合わせて今年の 3 倍の資金を景気テコ入れに使う可能性が出ている。またトランプ次期大統領の関税問題は、通商代表部代表が米国議会の公聴会を経て選任される事から 3 月以降になるため、関税問題が表面化するには春先を超えるなど、時間の余裕があり、それまでに NY 白金が 1000 ドルを回復する可能性は存在していると思える。

また日足チャートでは下値を切り上げる値動きを続けており、年明け早々に底固めを完了する様であれば、目先の 4815 円を超えながら春先には 5188 円へ向けた値動きに思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は上昇が止まり、**シグナル** は上昇している。RCI では**短期**が下げながら、**長期**は上昇している。そのため一時的な修正波動の動きに注意が必要であり、4600 円に向けた下値追いに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,585,000 円(2024 年 12 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 12 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>